

令和5年4月1日

令和5年度 春日井市立藤山台小学校 特別の教育課程の編成の方針等について

1. 本校の教育目標

充実した学校生活を通して、知・特・体の調和のとれた豊かな人間性の育成を図る。

- ・ よく考え、進んで学ぶ子・・・・・・・・・・・・・・・・ たくしく (知)
- ・ 心あたたかく、思いやりのある子・・・・・・・・・・・・ ゆたかに (徳)
- ・ じょうぶで、たくましい子・・・・・・・・・・・・・・・・ たくましく (体)

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

小学校第1～6学年において「書道科」を設ける。第1学年は、国語を30時間、生活科を4時間削減して、第2学年は、国語を30時間、生活科を5時間削減して書道科に充てる。第3～6学年は、国語を30時間、総合的な学習の時間を5時間削減して書道科に充てる。「書道科」において、書を書くという具体的な活動を通し、友だちと触れ合ったり、家庭生活での話題をもたらしたり、地域の人々とのかかわりを生んだりする。そこから、集団の中での自分の役割や行動の仕方を考えさせるとともに、「書のまち」に生きるよさと愛着をもたせる。

また「書道」という伝統文化や「書のまち」を発信する地域の特性を探究する活動にも取り組むことを通して、表現力の向上と向上心の伸長を図るとともに、日本古来の文化や自分の生活する地域を振り返りながら自己の生き方をも考えさせる。

(2) 特例の適用期間

平成27年4月1日～令和11年3月11日

(3) 実施学年

1年、2年、3年、4年、5年、6年（特別支援学級 単独でも実施）

(4) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は、三蹟のひとり小野道風の生誕の地と言われており、全国的にも数少ない書専門の美術館小野道風記念館を有し「書のまち春日井」として、書道の普及発展に力を入れている。

書道は「文字を正しく整えて書く」ことにおいて、従前から行われてきた国語科における書写の目的に共通するが、その文化・芸術性及び精神性においては、書写とは一線を引くものである。現在、児童の「表現力の向上」「心の教育の充実」などが重要な教育課題であると認識している。それらを解決するため、前述した地域性や学校の特色、さらには書道の特性を活かした「書道科」を設け、表現力の向上を目指すとともに、よりよい作品をつくりあげようとする向上心、つくりあげた達成感から得られる自尊感情、相互評価などの他者との関わりから得られる親切心や規範意識等、特に心の充実を図りたいと考える。また、同時に郷土愛についても、書道を通して「書

のまち春日井」に根ざして生活している自覚を促し、育てていく。

（５）特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

本特例は「書道」という伝統文化や「書のまち」を発信する地域の特性を探究する活動にも取り組むことを通して、表現力の向上と向上心の伸長を図るとともに、日本古来の文化や自分の生活する地域を振り返りながら自己の生き方をも考えさせるものである。

本校で工夫を凝らしている作品づくりでは、自分の目標や思いを漢字一文字に込め、表現力を向上させることもできており、心を豊かにする取組だと言える。

（６）学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

２に記載する特別の教育課程について、教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）及び学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に規定する小学校等の教育の目標に関する規定等に照らして適切であることを、春日井市教育委員会において確認済。

<特記事項>

地域に住む書道に堪能な方を書道科補助員（書道科講師）として雇用し、書道の技術面をサポートする実施体制の充実を図ることにより、特別の教育課程を円滑に実施することができている。

内容としては、書の技術面の向上だけでなく、より書に親しみをもつことができるよう、学年に応じた作品づくりも取り入れている。

また、低学年では書道の準備や片付けに時間を要するため、書道セットを個人の持ち物ではなく共有して使いやすい場外で保管できるようにしたり、水書板を使用したりして練習時間の確保ができるようにしている。

３．特別の教育課程の実施状況に関する評価

（１）評価の観点

- ① 特別の教育課程の編成・実施により、学校の教育目標が十分に達成されているか
- ② 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標が十分に達成されているか

（２）自己評価

児童	・書道の時間は低学年の頃は難しいと思ったが、高学年になると、高学年らしい文字がかけられるようになった。
教員	・全紙の体験は書の先生がいるからこそできる専門的体験である、ありがたい。
保護者	・毎年同じ先生に継続して教えていただけるので、安心である。

（３）学校関係者評価

- | |
|---|
| ・子どもたちの作品を見せていただくと、基本的な技法に加えて字に心を感じる。
・子どもたちが真剣な表情で授業に取り組んでいる。 |
|---|

